

Free R rail

住宅用屋外手すり フリーRレール

フロント用ベースプレート式支柱
(BJ-181ST/BJ-182DB)

取扱説明書 / 施工要領書

このたびは当社商品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになった後もすぐ取出せる場所に大切に保管してください。

【施工業者様へ】

施工後は、お客様に必ず本書をお渡しください。

【お客様へ】

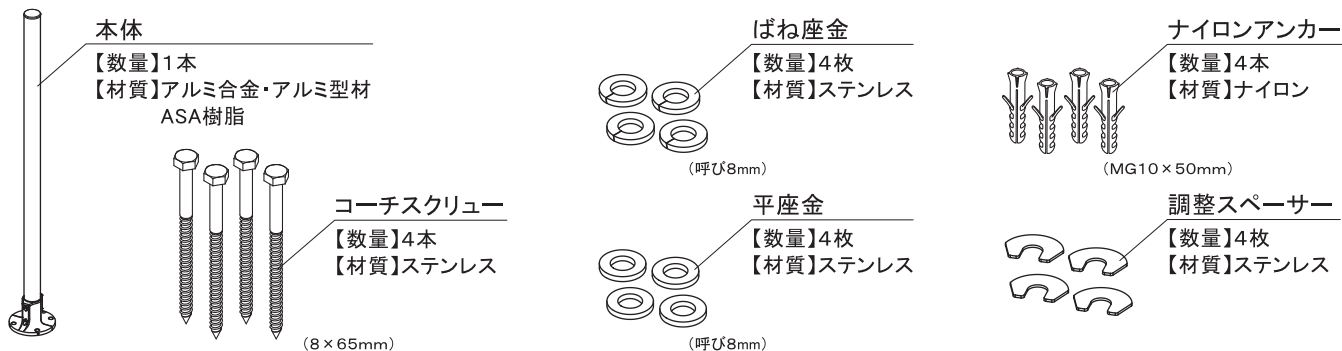
本書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な使用により事故が発生した場合、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
転居される場合、次に入居される方に本書をお渡しください。



マークの種類について

- ⚠ 警告 死亡または重傷を負う可能性がある内容
- ⚠ 注意 軽傷または物的損害が発生する可能性がある内容
- 🚫 禁止行為
- ❗ 必ず行う

部品明細

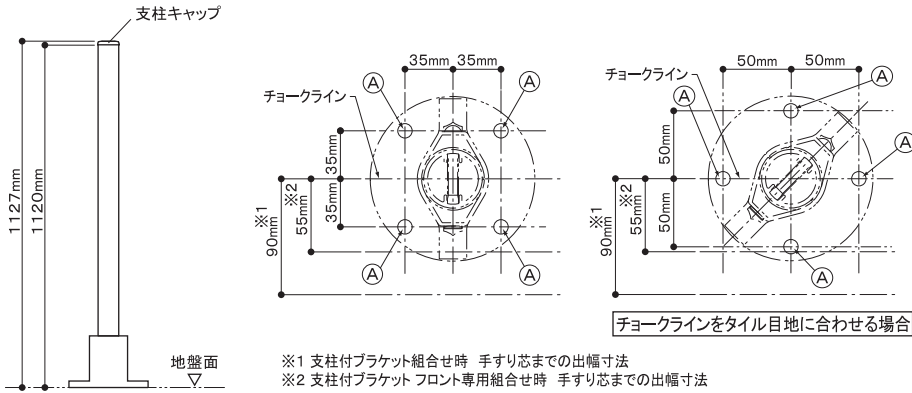


安全上のご注意

- ⚠ 警告
❗ 支柱付タイプのブラケットと組合せて使用する。
❗ 1番上に取付けるブラケットは、必ず支柱上端に取付ける。
ブラケットを取付ける高さに合わせて支柱をカットする。
- ❗ ブラケット(支柱)ピッチは下記寸法を必ず守る。
曲がる手すり棒の場合
● ブラケット(支柱)3個以上使い …800mm以内
● ブラケット(支柱)2個使い(1スパン) …700mm以内
直棒手すりの場合
● 1200mm以内
- ❗ へりあき寸法は100mm以上はなす。
- ❗ 壁とアンカー位置は30mm以上はなす。
チョークラインは65mm以上(タイル目地に合わせる場合は80mm以上)はなす。
壁からアンカーを充分にはなさない場合、充分な強度が出ない場合がある。
- ❗ 床厚に注意する。
床厚が100mm以上無い場合は取付けできない。
充分な強度がでない。

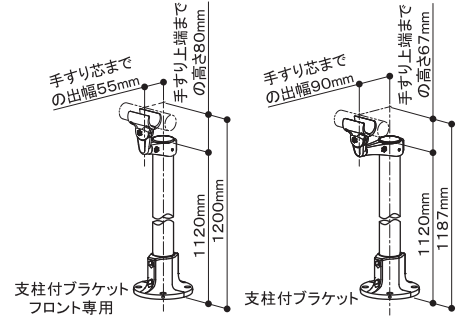
施工手順 ベースプレートの固定方法

① 設置位置を決め下図に基づき下穴位置(A)点を記す。

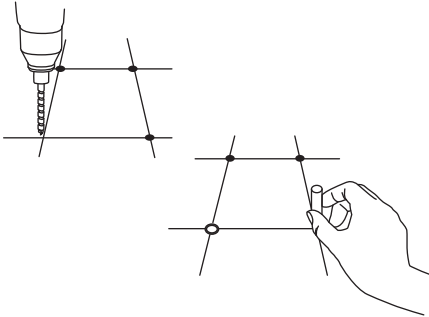


【支柱付ブラケットと組合せ時の寸法】

支柱付ブラケット フロント専用と支柱付ブラケットは、手すり芯までの出幅・手すり上端までの高さが異なる。寸法を確認し、設置する高さになるように支柱をカットする。

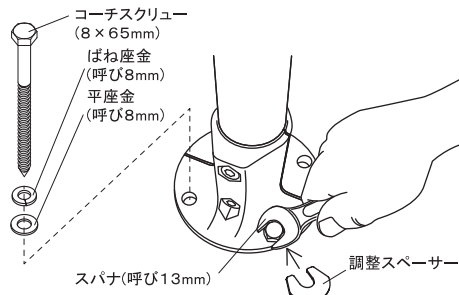


② マーキングした(A)点に振動ドリル(ドリル径10mm)にて、深さ55mmの穴をあけ、付属のナイロンアンカーMG10を挿入する。



❗ アンカー穴はナイロンアンカーを挿入する前に十分に掃除して削りくずを取り除く。ナイロンアンカーは地面より出ないように挿入する。

③ ベースプレートを固定する。

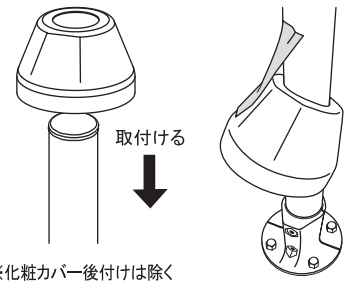


水勾配等により支柱が垂直に立てられない場合は、調整スペーサーを地面とベースプレートの間に入れる。調整スペーサーを使用する場合は1か所につき2枚まで。対応水勾配は1/50まで。

❗ 調整スペーサーは1か所につき2枚までとする。ベースプレートが損傷する恐れがある。

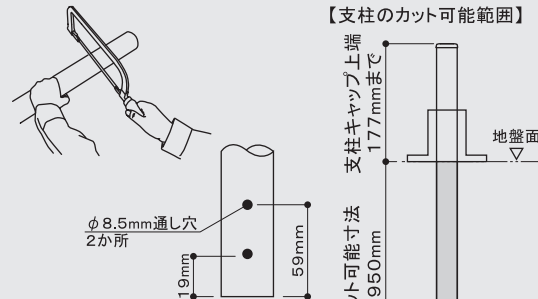
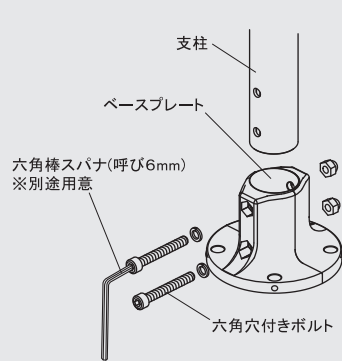
別売の化粧カバーを使用する場合

必ず支柱付タイプのブラケットを取付ける前に化粧カバーを取付ける。カバーはテープ等で支柱に仮止めする。

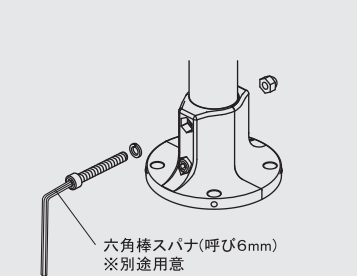


支柱のカット方法

- 六角棒スパナ(呼び6mm)でベースプレートの六角穴付きボルトをはずし、支柱を抜く。
- 金ノコ等で希望の長さにかとし、ベースプレート固定用の穴(φ8.5mm)をあけ直す。
- ベースプレートに支柱を差込み、再びボルトで固定する。



- ❗ 必ず支柱の下面をカットする。
- ⊘ 支柱は950mm以上カットしない。



❗ ボルトを締め直す時は、締付トルク 10N・m以上で締付ける。

支柱付ブラケット取付け時の確認事項

- 支柱上端には支柱付ブラケット フロント専用、支柱付ブラケットどちらも取付け可能。
- 支柱付ブラケット フロント専用・支柱付ブラケットを使用し、2段手すりとして取付け可能。但し、支柱付ブラケット フロント専用は支柱とのすき間に指を挟む恐れがある為、上段にのみ取付け可能。取付ける際は、ブラケットの取付け高さピッチを120mm以上にする。
 ※利用者が上下の手すり間に頭を入れてしまうなどの恐れがある場合は、首挟み防止の観点からブラケットの取付け高さピッチ※3・※4の寸法を推奨します。

